

FDG PET/CT 検査および頭部 MRI の両方の検査を受けられた方へ

研究のご説明

FDG PET/CT 検査はブドウ糖代謝の状態を画像化することにより脳腫瘍をはじめとする悪性腫瘍で広く用いられている検査です。また頭部 MRI は空間分解能の高い検査で脳腫瘍や脳の変性、萎縮の状態を評価する上で有用とされています。

今回、脳腫瘍と二次的な遠隔効果と考える視床・小脳の代謝低下の関連性について、両方の検査を用いて後ろ向き研究(今までの画像のデータを解析する研究)を実施します。

【研究の概要】

研究題名：脳腫瘍患者における FDG PET を用いた遠隔効果についての検討

研究機関：医学部倫理審査委員会承認後から 2018 年 12 月 31 日

実施責任者：高知大学医学部附属病院放射線科 岩佐瞳

【対象となる方】

2014 年 1 月 1 日から 2016 年 7 月 31 日の間に高知大学医学部附属病院で FDG PET/CT 検査と頭部 MRI の両検査を受けられた方

【研究の意義】

FDG PET-CT は糖代謝を反映した検査であり、脳をはじめとして局所の代謝を評価するのに有用な検査です。また、MRI は脳の変性や萎縮の評価に非常に有用です。今回 FDG PET-CT と MRI を比較することで、脳腫瘍における二次的な遠隔効果と考える小脳および視床の代謝低下の本質を知ることができる可能性があります。

【研究の目的】

脳腫瘍患者における遠隔効果と考える代謝低下につき評価し、病状との関連性を知ること

【研究の方法】

これまでの検査でカルテに保存されているデータを収集、使用して行う研究です。本研究は、当院の倫理委員会の承認を得ております。この研究は、ヘルシンキ宣言および「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守します。

【費用について】

新たにご負担いただくことはありません。

【予測される結果(利益・不利益)について】

該当する方の検査結果には全く影響を与えません。また、不利益を受けることもありません。さらに、この研究への参加をお断りになった場合にも、不利益をこうむることはありません。

【データの収集について】

本院で収集されたデータおよび個人情報は匿名化を行い、2021年4月30日まで厳重に保存し、その後ファイルを処分いたします。

【個人情報の保護について】

解析にあたっては、個人情報は匿名化し、その保護には十分配慮します。学会や論文などによる結果発表に際しては、個人の特定が可能な情報はすべて削除されます。

【データの二次利用について】

本試験で得られたデータについては、倫理委員会の審査を経て承認された場合に限り、個人識別情報とリンクしない形で二次利用することがあります。

【研究協力の任意性と撤回の自由について】

この研究に関して不明な点がある場合、あるいはデータの利用に同意されない場合には、2016年12月末までに以下にご連絡下さい。

【問い合わせ等の連絡先】

高知大学医学部附属病院放射線科 岩佐瞳

〒783-8505

高知県南国市岡豊町小蓮

TEL:088-880-2367